

# 「市民だけ負担」

横浜市議会 みどり税延長で白井氏



討論をする白井市議  
17日、横浜市議会

17日の横浜市議会定例会で、日本共産党の白井まさ子市議が討論に立ちました。

白井市議は、「横浜みどり税」(市民税に超過課税)の課税期間

を延長する議案に対し、課税方式が応能負担という税の原則に反すると指摘。開発業者への負担金導入や開発に対する規制強化をせずに、市民のみに負担を課すものであり、継続は認められないと主張し、反対しました。

学童保育の運営費の増額を求める請願(署名33万人分)について、月額平均保育料が1万6491円まで高騰し、経済的理由から学童保育に入るのをあきらめたり、途中退所している子どもが増えているなどの状況にふれ、採択を求めました。

50団体から提出された中学校給食の実施を求める請願については、川崎市が、早期に中学校完全給食を実施することを決め、推進体制を取ったことにより、「20政令市のなかでは横浜市と堺市だけとなる」と指摘。給食の意義や実態を踏まえて、請願を採択するよう訴えました。

みどり税の議案は、自民党、公明党、民主党などの賛成で可決。学童保育や中学校給食の請願は、自民党、公明党、民主党などにより不採択となりました。